

ARCHION、2026年度業績見通しおよび日野自動車の2025年度決算を発表

ARCHION 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：カール・デッペン、以下 ARCHION）は、2026年度業績見通し及び日野自動車株式会社（本社：東京都日野市、代表取締役社長 CEO：サティヤカーム・アーリヤ、以下日野）の2025年度決算を5月14日に発表しました。

■ARCHION 2026年度連結業績見通し<国際会計基準 (IFRS)>

2026年度連結業績見通しは、ARCHIONが4月1日より堅実なバランスシートと健全な財務基盤をもって事業を開始したことを示しています。日本および東南アジア市場における販売増により連結売上台数は約23万台、売上高は2兆4,250億円を見込んでいます。業績については、外部環境が厳しい中でも販売拡大および効率化や為替の影響により、営業利益は1,100億円の見通しとなり、経営統合に伴う各種調整を経た2025年度連結業績のプロフォーマ^{*1}から50%超の増益、営業利益率は4.5%を見込んでいます。これは、ARCHIONが収益性の高い成長を目指す姿勢を示しています。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に計上した繰延税金資産の影響により、700億円を見込んでいます。2025年度の当期純利益には、繰延税金資産の認識による一時的な特別利益が含まれています。

また、ARCHIONは設立初年度から株主への還元を行う姿勢の現れとして、1株当たり8円の配当を予定しています。

	2025年度連結業績 プロフォーマ ^{*1,2,3}	2026年度連結業績 見通し ^{*4,5}	増減 (%)
連結売上台数 ^{*6}	21万8,000台	23万台	+1万2,000台 (+6%)
売上	2兆2,460億円	2兆4,250億円	+1,790億円 (+8%)
営業利益	725億円	1,100億円	+375億円 (+52%)
営業利益率	3.2%	4.5%	+1.3ポイント
親会社株主に帰属する当期純利益	1,145億円	700億円	-445億円 (-39%)
配当	—	1株当たり8円	

*1: プロフォーマ: 一定条件に基づき調整を行った日野と三菱ふそうの合算数値

*2: 経営統合に伴う主な調整

- 日野の2025年度の会計基準変更: 日本会計基準 (JGAAP) から国際会計基準 (IFRS) へ変更
- 三菱ふそうの2025年決算期変更: 12月 (2025年1月から12月) から3月 (2025年4月から2026年3月) へ変更
- 日野の羽村工場のトヨタ自動車株式会社への移管に伴い、当該事業に関する売上及び営業利益減
- 日野の一部の国内販売会社の和泰汽車股份有限公司への移管に伴い、当該事業に関する売上及び営業利益減
- 取得原価の配分

*3: 日野の北米認証関連の特別損失 369億円は一過性要因として除外。かかる要因を除外しない場合の営業利益は356億円

*4: 2026年4月1日に公表した「国際財務報告基準 (IFRS) の任意適用に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は2027年3月期の財務諸表について、国際財務報告基準 (以下「IFRS」) を任意適用しております。本通期業績予想は、IFRSに基づいて作成されています。

*5: 2027年3月期において、負ののれん益の計上を見込んでおりますが、現在検討中であるため、本通期業績予想には含めておりません。

*6: 連結売上台数: ARCHION グループ内取引消去後の ARCHION 連結外へ売り上げた新車の台数(含む KD)

■日野 2025 年度連結業績<日本基準 (J-GAAP) >

国内の小型トラックのモデル切り替え遅れの影響および海外主要市場の低迷により、グローバル販売台数は10万8,611台と前年同期比13.1%減少、売上高は1兆5,653億円と前期同期比7.8%の減収となったものの、損益面では、継続的に取り組んできた固定費改善や価格改善等により営業利益は821億円と前年同期比42.7%の大幅な増益となりました。稼ぐ力の着実な向上により、営業利益率は5.2%を達成しています。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に計上した北米認証関連損失が解消したことに加え、業績回復に伴う将来の課税所得の見通し等を踏まえて繰延税金資産を計上したこともあり、844億円と前年同期比138.7%の大幅な増益となりました。

	2024 年度実績	2025 年度実績	増減
グローバル販売台数	12万5,048台	10万8,611台	-1万6,437台 (△13.1%)
売上高	1兆6,972億円	1兆5,653億円	-1,319億円 (△7.8%)
営業利益	575億円	821億円	+246億円 (+42.7%)
営業利益率 (Return on Sales: RoS)	3.4%	5.2%	+1.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	-2,178億円	844億円	+3,022億円 (+138.7%)

ARCHION株式会社 渉外広報部

〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号

住友不動産大崎ガーデンタワー17階

TEL:03-4218-2150

営業利益率(RoS)は営業利益÷売上収益(IFRS)で算出

<参考> 三菱ふそう 2025 年度実績 <国際会計基準 (IFRS) >

	2025 年度実績
売上	8,387 億円
営業利益	281 億円
営業利益率	3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	199 億円

本資料は、当社の企業情報等の提供を目的としており、日本国内外を問わず、有価証券の売却の申込み、購入の勧誘、または投資活動への勧誘もしくは誘因を構成するものではありません。

本資料には、財務予測その他の将来見通しに関する情報が含まれていますが、これらは情報提供のみを目的として記載されています。当社は、将来の事業活動、業績、事象および状況に関して、「目標値」「想定」「予想」「計画」「戦略」「予測」「見通し」「可能性」等の表現、またはこれらに類似する表現を使用する場合がありますが、すべての場合においてこれらに限定されるものではありません。本資料に含まれるすべての将来予測情報は、暫定的かつ本質的に不確実性を伴うものであり、変更される可能性があり、実現しない可能性のある仮定に基づいています。したがって、予測対象期間における当社の最終的な業績が、これらの見積もりと大きく異なることの保証はありません。

以上

ARCHION 株式会社について

ARCHION（アーチオン）株式会社は、商用車のパイオニアである日野自動車と三菱ふそうトラック・バスの経営統合により、「商用車の未来をともに作る」という共通の思いのもとに誕生した持株会社です。ARCHION は両社が長年培った強固な顧客基盤や生産・販売ネットワークに加え、主要株主のダイムラートラックおよびトヨタ自動車との連携による競争優位性を強みにし、燃料電池をはじめとするゼロ・エミッション技術や自動運転などの先進領域でシナジー創出を追求します。「人と物の移動をつなぎ、ともに豊かな未来を創る」をミッションに掲げ、ARCHION は持続可能な輸送の実現と豊かな社会づくりに信頼できるパートナーとして貢献することを目指します。